

大阪・関西万博開催に向けた御意見

御所属 国立民族学博物館 館長御名前 吉田 憲司 様

1. 2025年の大阪・関西万博に何を期待しますか。

- 人類が一堂に集い、他者への共感と敬意を育んで、言語や文化の壁を越えて**共に生きる世界を築くための「人類の祭典」**とすることを期待する。
 - ← 自らの視野に収めた世界を展望することを目的に始まった万国博覧会であるが、国威発揚型、開発直結型の万博の時代はすでに終焉を迎えたと思われる。ただ、世界の人びとが実際に集う、人類の「祭り」としての意義は、将来にわたって失われることはないと考える。
- 「いのち輝く未来社会のデザイン」というテーマは歓迎する。今後、そのコンセプトに「**文化**」という視点を十分に組み込む必要がある。
 - ← 哺乳類の中でも遺伝的多様性が他の生物と比べて際立って低い人類が、なぜ70億もの人口を抱えてこの地球上を覆い尽くしているのか。それは文化的多様性の故にほかならない。人類の文化的多様性を守らずに、「いのち輝く未来社会」は築きえない。そのような社会をデザインするのであれば、それは同じ人間としての共感を育む一方で、人類の文化的多様性を確認し、それを尊重し守り育てていく仕組みを考えること以外にない。それは、SDGsの趣旨にもかなうものである。
- **参加国と「共創する」万博**を企画立案の段階から実現させていただきたい。
 - 参加国が、自分たちが誇れる技術や営みを自分たちで提示できる制度設計が必要である。そのためには、準備段階から、日本の若手の研究者やボランティアが各国に向き、共同で企画を練り上げる仕組みを組み込むことが求められる。その際、「展示」のノウハウをもつ、当該国の博物館・美術館との連携が有効である。その結果、次世代における、日本と世界各国の人的ネットワークが構築できる。
- 「人類の進歩と調和」をめざした70年万博の最大の**レガシー**が、「人類共生のための指針を示す」ことをミッションとした国立民族学博物館（民博）といえるであろう。2025年の万博が、「SDGsを達成するための万博」と位置づけられるのであれば、そのレガシーとして、世界の持続可能な開発に向けた「**国際SDGs研究開発センター**」のようなものを創設できないか。万博で蓄積されたSDGsの達成に向けたさまざまな情報を基盤にして、継続的にその目標達成のための技術を開発し、さらにはその世界への普及を進める、研修施設も含めた国際共同利用研究機関といったイメージである。そのような施設であれば、70年万博のレガシーである民博との連携活動も可能となる。

2. 大阪・関西万博で見せるべきコンテンツは何でしょうか。

- 「SDGs を達成するための万博」という趣旨は、もっと前面に押し出されてよい。
 - 人びとが、自らの存在、自らの文化に自信と誇りをもたずに、「持続可能な社会」は築けない。それだけに、万博の構想に当たっては、人類全体を俯瞰する広い視野と、世界の人びとがそれぞれに築いてきた文化への洞察が求められる。
 - 「未来社会の実験場」というコンセプトも、「SDGs を達成するため」という目標と直結するかたちで打ち出すことで、より具体化しやすくなる。
 - ← IT (ICT)、AI、ロボットなどを活用した「未来社会の実験場」には、そうした技術から取り残された人びとへの目配りと対応が伴うことが必要である。IT 大国といわれるインドにおいてすら、現在、インターネットにアクセスできるのは、全人口の 35% にとどまる。IT だけで地球全体、世界大の未来を語ることはできない。
 - また、最先端のライフサイエンスの提示にも、その恩恵をうけることの難しい人びとが人類の大半を占めていることを忘れてはならない。
 - 最先端の技術の提示には、同時に、そこに至る道筋、さらには手近な技術で実現できる代替手法を提示する必要がある。
 - 参加国との協働で制作したコンテンツの提示を。
 - ← 万博の場が、最先端技術を誇る「私たち」の社会と、それに取り残された「彼ら」の社会といった構図を再生産する場になるのなら、それは本末転倒である。あらゆるコンテンツが、その対象となっている人びとへの共感と敬意を育むものでなければならない。そのためにも、コンテンツの制作は、企画段階から、参加国の人びととの共同作業のもとで進めるものでなければならない。
- ### 3. 会場計画及びインフラ整備について、新たなアイデアや御意見をお願いします。
- 「中心を造らない離散型の会場デザイン」が提唱されている。ネットワーク型の社会を標榜するという趣旨との整合性の点で評価できるが、会場の立地からすると、入場者が自分の位置を把握するのに困難が予想される。**位置関係を把握する目印になる構造物の設置は必要**と思われる。明石海峡大橋までも見渡す雄大な風景を考えると、新しい形の大観覧車も一案か。
 - 待ち時間軽減に向け、**スマートフォンのアプリ**を利用して、入場を希望するパビリオンを選択すると、待ち時間を最小限にする**ルートの提示と入場予約が可能になる**システムを導入する。
 - **海水を淡水化した水**による水路の設置や、その水の散布による緑道の維持、暑さ対策は必須。
 - 地域を巻き込む国家プロジェクトという性格を最大限に生かすためにも、会期中に、関西圏はもとより、**全国各地域で、参加各国に関連する展覧会等の芸術文化事業**を展開する。地域コミュニティを巻き込んだ一種の**ホストタウン事業**である。ひとつの市町村がひとつの国と結びつくことで、日本全体が世界と結びつく契機となる。民博から、そうした展示事業に当該国の関係資料を貸し出すことは、東京オリンピックのホストタウン事業で経験済みである。
- ### 4. そのほか、御自由に御意見をお願いします
- 2025 年の大阪・関西万博が、人間のいのちの尊厳の認識と、異なる文化への共感に基づいた、未来の人類共生の見取り図を描き出す場となることを期待する。